

2017年

5

月号

組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町 2-222-7

TEL 048 (666) 2184

FAX 048 (652) 7631

〈発行人・理事長〉

黒澤 久

〈編集人・総務委員長〉

島田 幸昌

—今月号の主な内容—

「インド共和国に行ってきました」理事長 黒澤 久 ……2

平成29年埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会

第59回埼玉県めっき技術競技会・排水表彰 ……3

彩の国ビジネスアリーナ2017 ……6

埼玉会賀詞交歓会 ……7

第5回めっき業界「未来を担う若手の集い」 ……7

平成29年全鍍連賀詞交歓会 ……9



158号



インド共和国に行つて来ました

埼玉県鍍金工業組合 理事長 黒澤 久

常日頃、埼玉県鍍金工業組合へ

のご支援、ご協力を頂き組合員の皆様はじめ関係各位様に厚く御礼申し上げます。お蔭様で1昨年5月の総会で理事長を仰せつかつてから2年が経過し、大過なく経過して来られました、ついで重ねて皆様に感謝申し上げます。

さて、3月に経済団体の海外視察研修でインド共和国に行つて来ました。

その感想を述べさせて頂きます。研修先はマネサール地方にある、インドの自動車市場のシェア1位の日本の自動車メーカー「スズキ」で47%、街中を走る車の2台に1台はスズキの車でした。尚中古車市場は年間2000万台だそうです。その海外生産拠点の「マルチ・スズキ社」はインドに

2つの工場があり年間140万台

生産し、その一つのマサール工場を訪問しました。この工場は従業員7000人で日本人は9人との事、殆どは現地の従業員に任せていました。ちなみに一般ワーカーの月給は日本円で1万円〜2万円だそうです。高品質で耐久性に優れた乗用車の製造現場を視察して大変に勉強になりました。

また、インドで日本のJETROが推奨する日系の中小企業が50社ほど集まるニムラナ地区にある工業団地にも行き、今も日本の中小企業からの問い合わせが引つ切り無しとの事。現在の日系企業のインド進出企業は千三百社を超えているそうです。

インドの人口は12億人超で世界第2位。通貨はインドルピー、公用語はヒンドゥー語、ヒンドゥー

教徒が80%、他イスラム教徒を筆頭に多様な宗教、言語・文化を持つ民族で構成されている。

観光は皆さんご存知と思いますが、世界遺産のタージ・マハル（写真参考）を見学しました。これは四〇〇年近く前、当時の皇帝シャー・ジャハーンが若くして死去した愛妻の為に20年かけて総大理石の墓廟であり、イスラム教の

代表建築です。余談ですがインドの国旗で上段黄色はヒンドゥー教、下段緑色はイスラム教で真ん中白色は両派の融合の象徴だそうです。共和国とは君主を置かず国家が国民全体に所有されている状態で、他の言語で民国（中華民国、等）とか衆国（アメリカ合衆国、等）と同意語だそうです。

総じて、中国の20年前、日本の40年位前（一九七〇年前後）を思わせ

る活況のある国との印象をうけました。

私共の組合は、諸先輩の努力のおかげで今年50周年を迎える事が出来ました。今年の秋には記念事業も計画しておりますのでご協力をお願い致します。

鍍金組合は業界発展の為絶対に必要な組織です、今後とも更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。



平成29年埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会及び めつき技術競技会・排水管理優良事業所表彰式開催される



ございます。今年は酉年、過去を振り返ると昭和8年天皇陛下ご生誕・昭和20年終戦等、昭和の大きな節目。近年では平成17年小泉内閣による郵政民営化、そして本年です。

経済はトランプ旋風が吹き荒

れ、昨年はEUよりイギリスが離脱、今年はドイツ・フランスの大統領選挙が控えています。欧州・アメリカでは反グローバル化、いわゆる「国内ファースト」のポピュリズムの流れが来ているようです。

正月にNHKにて『欲望の資本主義』という番組がやっておりまして、昔は食べるための労働であったものが現在は欲望を満たすための労働に変わってきていて、価値観やルールは常に変化し続け

それに合わせる必要がある、欲望

は無限で限りが無い。グローバル化で儲かるのは資産家・投資家・富裕層であり、もたらされるのは更なる格差の助長である。今までの資本主義は成長を目的としてきたが、安定を求める資本主義に変わっていくだろうとも言っており

ました。これからは不確実性の時代、何が起きるか分からない。永遠に続くものなど無いということ

を繰り返して話しておりました。西暦は騒がしい年になる例に違わず、トランプ旋風からはじまった今年も波乱の幕開けでしたが、そんな状況下で小泉元総理が言っておられた「上り坂・下り坂・『まさか』の3つの坂」を思い出した次第で、そんな1年になるように感じております。

我々埼玉県鍍金工業組合は、今

年で50周年。設立から半世紀であります。ついでに記念事業を9月7日に行う計画を立てております。「会員ファースト」な会員が喜ぶことを優先する内容を考えて、ここに届けます。手帳の予定欄に書き

置いただければ幸いです。最後に今年1年間で皆様に託して良い年であることを祈念し、ご挨拶に代えさせていただきます。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。」と述べました。

続いて来賓の祝辞を埼玉県知事 上田 清司氏代理の産業労働部 参事兼副部長 渡辺 充 氏より知事の祝辞を代読、次に衆議院議員 中根 一幸氏、衆議院議員 枝野 幸男氏、衆議院議員 武政 公一氏、参議院議員 西田 実仁氏よりご挨拶を

埼玉県鍍金工業組合は、平成29年1月17日(火)午後5時よりパレスホテル大宮(さいたま市)にて、来賓をはじめ組合会員・賛助会員多数列席のなか、平成29年埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会を開催しました。

はじめに島田 幸昌 総務委員長 司会のもと伊藤 麻美 副理事長より開会の辞で始まり、主催者を代表して黒澤 久 理事長が次の通り挨拶され

「新年あけましておめでとうご

平成29年5月20日



クロムと無電解ニッケルめっきが追加される件

以上3つの全鍍連の活動の紹介と共にご祝辞を頂きました。

その後、出野 哲也 専務理事より本日ご来席いただいた来賓の皆様のご紹介をした後、

東京都鍍金工業組合 理事長 神谷 博行 氏の乾杯のご発声により歓談がスタートしました。

本年も昨年と同様、同日に行われました埼玉県めっき技術競技会並びに排水管理優良事業所表彰式で埼玉県知事賞及び埼玉県鍍金工業組合理事長表彰を受賞された企業様のご紹介がされました。

終始和やかな雰囲気の中が歓談が行われ、仁科 俊夫 顧問の閉会の辞で平成29年埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会は閉会しました。

また、本賀詞交歓会の前、3時30分より同パレスホテル大宮別室で平成28年度第59回埼玉県鍍金工業組合めっき技術競技会及び排水優

良事業所表彰式が開催されました。

はじめに、緑川 宏 氏の 司会のもと、吉田 幸司 副理事長より開会のことばを述べた後、黒澤 久 理事長より次のように挨拶を頂いた。

「恒例になりましたこの催しも今年で59回、組合が今期で50周年を迎えましたが、組合ができる前からやっていた歴史ある素晴らしい

競技会の表彰式です。

ご指導いただいている産業技術センター・埼玉県並びにさいたま市の環境課の皆様・各審査委員の皆様には改めて御礼申し上げます。

亜鉛をはじめとする排水の暫定基準が5年ほど伸びたというお話がありました。これは各県の組合の声を上部団体の全鍍連がとりまとめ、強い要請をすることで実現できたと聞き及んでおります。

こういった取り組みが組合の最も大きな役割であるなど感じた次第です。」と述べた。

続いて、主催者代表挨拶として、埼玉県産業技術総合センター センター長 中村 雅範 氏よりご挨拶を頂き。その後、主催者紹介をした後、表彰式に移った。

はじめに新谷 祐司 技術委員長より、めっき技術競技会 経過報告があった後、高岡 彰次 技術副委員長より表彰の発表があり表彰が

頂きました。

その後、全国鍍金工業組合連合会会長 栗原 敏郎 氏より

①埼玉を発起人として始まった若手経営者のネットワークが熊本地震の際、有志のリレーで被災地まで物資を届けた件など全国的に活躍している件

②伊藤副理事長が副部会長を務める全国女性経営者の会の活躍

③全鍍連めっきコンクールに硬質



行われた。次に、審査員を代表して特殊電気めつき技能士 山崎健次氏より今回のめつき競技会総評がありました。

続いて、平成28年度排水優良事業所の経過報告について渡邊順一 環境委員長より経過報告があった後、吉野 正洋 環境副委員長より連続受賞企業の報告後、表彰が行われた。

最後に、受賞者を代表して、株式



会社精硬クローム工業 田中 知雄氏より

「本日は埼玉県めつき技術競技会ならびに排水優良事業所 表彰式にあたりこのような栄誉ある賞を賜りましたこと受賞者を代表いたしまして心より御礼申し上げます。

日本のめつき技術の発展は高度成長期の産業を支え、どの国にも負けない素晴らしい技術として確立され現在、最先端分野から日常分野までどの分野においてもなくてはならない大切な技術となっております。もしめつきがなかったら、現在の最先端技術は皆無であったでしょう。また、国内の製造生産コストも現在より高くなっていたことでしょうか。

我々の携わるめつきは今後の国内の産業を支えていく上で、必要不可欠な技術だと確信しております。このような技術を後世に伝え残すためにも、我々は適正価格の見直しを行い、環境問題の取組み・



技術向上を重視し、社業の発展、しいてはめつき業界の発展のために邁進をいたす所存でございます。

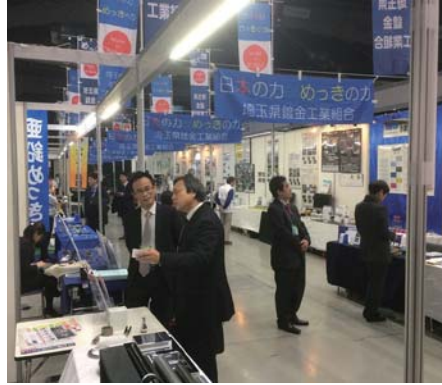
その為にも今後、より一層の関係各位からのご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げますと、本日御臨席いただきました皆様のご健勝を願ひ受賞者一同を代表いたしまして感謝の言葉に代えさせていただきます」と謝辞を述べた。

今年度より、めつき技術の更なる発展を推し進めるための講演会が企画され、第1回として埼玉県産業技術総合センター様に産業技術総合センター S A I T E C の役割、利用できる機器・支援内容等の詳細についてご講演賜りました。

この後、伊藤 麻美 副理事長が閉会のことを述べ、平成28年度第59回埼玉県鍍金工業組合めつき技術競技会及び排水優良事業所表彰式を閉会となりました。



彩の国ビジネスアリーナ2017



展示用デスクの代わりとなる平板

等の購入に充てる事が出来、準備日にお手伝い頂いていた方々の人員軽減や積込効率等を上げる事が出来ました。

また、昨年まで同展示会に単独出展されておられた事業所や関連グループからも出展頂いた事業所など例年ご参加頂いている事業所と合わせて数多くのご賛同を頂き、初めて展示ブース十六小間全での展示を行なう事が出来ました。

平成29年2月1日(水)～2日(木)さいたまスーパーアリーナにて『彩の国ビジネスアリーナ2017』が開催され、当組合から二十三事業所が同商談展示会に出展参加致しました。

本年度は政府補正予算から展示会等出展行事に係わる補助金の申請を行ないました為、例年に増してPR用横断幕等の購入や毎年組合事務所より借用しております

申し上げますとともに、更なる商談チャンスの場を提供できる様、次年度も引き続き努めて参りたいと思っております。

最後となりますが、出展にあたりご賛同頂きました各事業所様に御礼申し上げますとともに、毎年準備にご協力頂いております埼玉薬品様へも併せて御礼申し上げます。

技術委員長 新谷祐司

展示会参加事業所

- (有)石田電解研磨工業所
- 潮工業(株)
- (株)オーク
- (株)大倉
- (株)大宮鍍金工業
- (株)甲斐野テックス
- 兼松精鍍工業(有)
- (株)小林鍍金工業
- (株)サニー電化
- (有)島田工業所
- 新硬クローム工業(株)

以上23事業所

- (株)真工社
- スリーケ(株)
- (株)精硬クローム工業
- 仁科工業(株)
- 日本電鍍工業(株)
- 日本ミクロ工業(株)
- ふたば工業(株)
- (株)ミドリ技研
- (株)明光社
- (有)吉田商店
- 吉野電化工業(株)
- (株)ヨシノハード



平成28年度 埼玉鍍金工業組合を 開催しました



岡田副会長の司会進行のもと、
饗場功治会長より1年の始まりに
ふさわしい、皆様を元氣付けるご
挨拶により開会しました。

続いて、埼玉鍍金工業組合伊
藤副理事長よりご祝辞をいただき
女性目線の貴重なご意見を頂きま
した。

平成29年2月3日金曜日 さい
たま市大宮区の割烹旅館新道山家
にて平成28年度埼玉鍍金新春賀詞交
歓会が開催されました。
埼玉鍍金工業組合より伊藤麻
美副理事長、仁科俊夫顧問事が
参加。会員、会友29名、埼玉鍍金入会
を検討している方々3名と総勢34
名での開催となりました。

新谷裕司氏に乾杯のご発声によ
り大盛り上がりの宴会がスター
ト。宴会中にはジャンケン大会を
開催し、昨年以上の盛り上がりも
あり、活況のうちに2時間が瞬く
間に過ぎ、仁科顧問理事の中締め
により無事閉会となり、今回も会
員相互の有意義な交流とすること
ができました。
ご参加いただきました皆様方の
益々のご健勝・ご発展を祈念申し
上げます。

第5回 めつき業界の未来を担う若手の集い



合計8名の有志で参加しました。

第5回となる「未来を担う若手
の集い」は平成29年3月3日(金)
ひな祭りの日に福岡県福岡市天神
のソラリエ西鉄ホテルにて盛大に
開催されました。
九州博多と言う遠方の地ながら
もちろん勤勉な埼玉鍍金メンバーは
「未来を担う若手の集い」への参加
だけでは満足しません。九州めつ
き工業組合理事長が経営される株
式会社九州電化を見学させていた
できました。株式会社九州電化の
設立は昭和58年とめつき専業者と
しては若いのですが、取扱う表面
処理は67品目と非常に多く、また
全国めつき技術コンクールでも多
くの受賞歴をもっています。社長
方針として新しい技術開発に力を
入れており、先端表面処理技術や
医療機器の開発などに積極的に取
り組んでいました。驚くべきこと
に後継者である山田亮製造部長自
身が特級めつき技能士を有してお
り、経営者自身がめつきを学ぶこ
との大切さを改めて感じさせられ



ました。余談ですが工場の屋上からは福岡空港の滑走路が一望でき、離発着する飛行機を直下から見上げることが出来ました。工場見学の中で一番の盛り上がりが見事な飛行機見学であったことはここだけの秘密です。

さて、「未来を担う若手の集い」ですが、参加者は北海道から四国まで、全国から90名の若手経営者・後継者が集まりました。当日は九州めつき工業組合理事長 山田

氏、全国鍍金工業組合連合会 事務局 牧田氏を来賓に迎えました。

今回の集いは講演会と交流会の2部構成になっており、1部の講演会では株式会社オジックテクノロジーズ 代表取締役社長 金森氏に「マネジメントと危機管理」の演題で講演していただきました。前半部ではトップマネジメントに関して金森氏自身の思いや考え方を具体例を挙げながら分かりやすく説明していただき、後半部では熊本地震での被害や対応への反省を踏まえたBCPのお話をしていたきました。真剣なお話の中にもユーモアを含ませた金森氏の講演に参加者全員が聞き入っていました。

2部の交流会では、主催者代表として九青会会長 石川氏、来賓として九州めつき工業組合理事長 山田氏にご挨拶をいただきました。その後、東北・北海道表面処理

工業組合 北青会会長 斎藤氏による独特な乾杯の音頭がとられ、非常に和やかな雰囲気になりました。なお、席は恒例? になつたくじ引きで決められましたが、お酒が進むにつれテーブルを移動しながら積極的に交流を深めている方も多く見られました。

会中の各組合団体紹介に於いては、団体毎に特色ある活動紹介が行われました。まじめに思いを語る経営者・無言で飲む工場長・裸踊りをする経営者など表現の仕方はそれぞれでしたが、「みなさん」未来を担う若手の集いを通して得られた縁をさらに広げようと前向きな気持ちで伝わりました。諸般の事情から埼鍍金会はおおとりを務めさせていただきました。恒例となつている元気の良い挨拶と飲みみつぶりを披露した後、当日が九州めつき工業組合理事長 山田氏の誕生日と言うこともあり、お祝いをさせていただきました。

交流会は東京都鍍金工業組合青年部会長 梅田氏の中締めで散会となりました。今回は九青会の皆さまに二次会会場も手配していただき、ほぼ全員が二次会場に移動していたようでした。毎度のことですが一部の参加者は三次会、四次会と朝まで交流を深めていたそうです。

英国のEU離脱問題や米国のトランプ政権など混沌とした政情の中で、不安材料は多いですが、業界として切磋琢磨しながら前向きに取り組もうとしている姿勢が感じられる会でした。

最後に、第5回「未来を担う若手の集い」の準備とおもてなしにご尽力をいただいた「九青会」の皆さまに、感謝の意を表して締めくくりたいと思います。

平成29年全国鍍金連合会賀詞交歓会



平成29年1月27日機械振興会館にて池田総務委員長の司会進行によって行われました。

栗原会長の挨拶の中で、特に、業界の後継者不足が指摘される中、全国若手の集いの会や青年部交流会など、様々な交流が活性化しており、若手の育成に期待をしています。

る。

また技能奨励についてですが、全国めつき技術コンクールについては、本年度最高参加件数となる351件を記録し、硬質クロム等の新たな部門の創設も検討しているところだ。『技術ファースト』として、業界内で技能の研鑽が一段と進むことを願っていますと、挨拶がありました。

続いて来賓祝辞に移り、経済産業省製造産業局の佐藤審議官、東京の鍍金工業組合に所属されている、全国中小企業団体中央会の大村会長、日刊工業新聞社の井水社長、日本表面処理機材工業会の奥野会長から祝辞を頂戴いたしました。

次年度の会長の選出もほぼ決定しているようで、全国鍍金工業組合連合会も、新しい年を迎えようとしています。最後に森脇副会長が閉会の辞を述べ閉会しました。

参加者は、約150名が参加しました。



事務局よりのお知らせ



職員紹介

今年一月より分析でお世話になっております篠永智恵子と申します。

実は平成十九年九月～二十五年五月までお世話になっておりましたが、病気のため退職し療養に努めて参りました。

この度黒澤理事長、出野専務理事を始め皆様のご尽力により舞い戻る機会を頂きました。

病気はまだ完治しておりませんが、病状の許す限り少しでも貢献出来ればと考えております。

どうぞよろしくお願い致します。

『組合との思い出の写真を募集いたします。』

埼玉県鍍金工業組合も皆様のご尽力とご愛顧を頂き、創立50周年

を迎えることが出来ました。そこで、皆様と歩んで参りました50年の歴史を組合記録として後世に残したいと考えております。

尽きましては、組合行事などで撮影されたお写真をお借りしたいと考えております。

写真の内容は、組合行事などで撮影された写真(視察研修・賀詞交歓・講習会・支部会)などを募集したいと思えます。

写真の際はどんな行事で撮影された写真なのか、簡単な説明で構いませんので添付して頂ければ幸いです。

お借りしたお写真は必ずご返却させて頂きますので、ご協力の程

よろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

写真の送付先は、組合事務局に送って頂けるか、デジタル記録であれば、記録メディアなどで送って頂きたいと思えます。

写真の送付先は、組合事務局に送って頂けるか、デジタル記録であれば、記録メディアなどで送って頂きたいと思えます。

募集期間は平成29年6月までにご利用致します。

皆様のご協力の程、宜しくお願い致します。

総務副委員長 田中知雄



訃報

生田目 克己さん

(有)生田目鍍金

代表取締役

平成29年2月26日 逝去

享年87歳



埼玉県鍍金工業組合 めっき技術競技会で大変お世話になりました武蔵工業大学(現東京都)

大学)星野重夫 名誉教授 著書

『めっき技術の基礎』 はじめ

てめっき技術を学ぶ人のために(株)ナツメ社より3月発行されました。

各めっき技術から排水、歴史、関連用語まで図解入りでとても解りやすい本です。是非、各企業で教育用として購入されては如何でしょうか。
ナツメ社 定価1,800円+税



印刷
保証企画工芸株式会社
〒110-0012
東京都台東区竜泉1-4-3
TEL03(3875)1641